

令和7年度九州沖縄農業試験研究推進会議 生産環境部会
土壌肥料研究会 開催要領

九州沖縄農業試験研究推進会議 生産環境部会長
農研機構 九州沖縄農業研究センター 暖地畜産研究領域長

1. 趣旨

農林水産省は、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立を実現するために、2021年5月に「みどりの食料システム戦略」を策定しました。その中では、土壌肥料に関連する2050年までの目標として、化学肥料使用量の30%低減と有機農業の耕地面積100万haが設定されています。これらの目標の実現のためには、堆肥等の有機質資材の活用技術や化学肥料に依存しない土壌管理技術を確立し、それを着実に普及させる必要があります。

そこで本研究会では、「みどりの食料システム戦略に対応した有機質資材の利用技術と土壌管理技術」について、最新の状況と取組みを共有するとともに、九州沖縄地域における今後の課題と展望を議論します。

2. 開催日時、場所

日 時：令和7年7月24日（木）13:30～25日（金）12:00

場 所：1日目 室内検討会（仮）

TKP ガーデンシティ 鹿児島中央（〒890-0053 鹿児島県鹿児島市中央町26-1）

TEL: 099-214-2525 <https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/gc-kagoshima/>

2日目 現地検討会

鹿児島市の軟弱野菜生産部会現地ハウス（貸切バスでの移動）

3. 研究会の内容

1) 室内検討会 7月24日（木）13:30～17:00

（1）挨拶、開催趣旨説明

（2）畜産廃棄物由来有機質資材による化学肥料代替の可能性

農研機構中日本農業研究センター 温暖地野菜研究領域 主任研究員 徳田進一

（3）家畜ふん堆肥を原料とした複合肥料の普及と課題

農研機構九州沖縄農業研究センター 暖地畑作物野菜研究領域 上級研究員 荒川祐介

（4）鹿児島県内各地での環境負荷軽減技術の取組状況について（仮）

鹿児島県農業開発総合センター 普及情報課 農業普及専門指導員 田中正一

（5）鹿児島県産家畜ふん堆肥を原料とした混合堆肥複合肥料の窒素肥効評価（仮）

鹿児島県農業開発総合センター 土壌環境研究室 川寄諒也

（6）総合議論

（7）閉会挨拶

2) 現地検討会 7月25日（金）9:00～12:00

集合：JR 鹿児島中央駅西口 9:00

現地：JA鹿児島みらい軟弱野菜生産部会ほ場（鹿児島市吉野町）9:40～11:20

①糖含有珪藻土を用いた土壌還元消毒ハウス 9:40～10:00

②土壌診断に基づいた施肥実証ハウス 10:00～10:40

③その他、高温対策、総合防除等の取組 10:40～11:20

解散：JR 鹿児島中央駅西口 12:00

4. 参集範囲

九州農政局、内閣府沖縄総合事務局、九州沖縄各県の試験研究機関及び行政普及部局、農研機構研究機関、その他主催者が認める者

5. 参加申込み

申込先：鹿児島県農業開発総合センター 生産環境部 土壌環境研究室 井上健一
〒899-3401 鹿児島県南さつま市金峰町大野 2200

電話：099-245-1156 FAX：099-245-1149

E-mail：nousou-dojoaishitsu@pref.kagoshima.lg.jp

申込期限：6月27日（添付の申込みファイルにご記入の上、お送りください）

6. 研究会全般に関する問い合わせ先

農研機構 九州沖縄農業研究センター 暖地畜産研究領域 小林創平
〒861-1192 熊本県合志市須屋 2421

電話: 096-242-7763 E-mail: soheik@affrc.go.jp